

～外来生物オオハンゴンソウを発見し駆除する～

平成27年度地域政策研究センター(地域提案型・前期)

課題名 : 「市民参加による外来種オオハンゴンソウの分布調査・駆除に関する研究」
研究代表者 : 総合政策学部 教授 渋谷 晃太郎
課題提案者 : たきざわ環境パートナー会議
研究メンバー : 高橋盛佳(滝沢環境パートナー会議)、島田 直明(総合政策学部)、
阿部 昭博、富澤 浩樹(ソフトウェア情報学部)
キーワード : 外来生物 オオハンゴンソウ 市民参加 分布調査 駆除

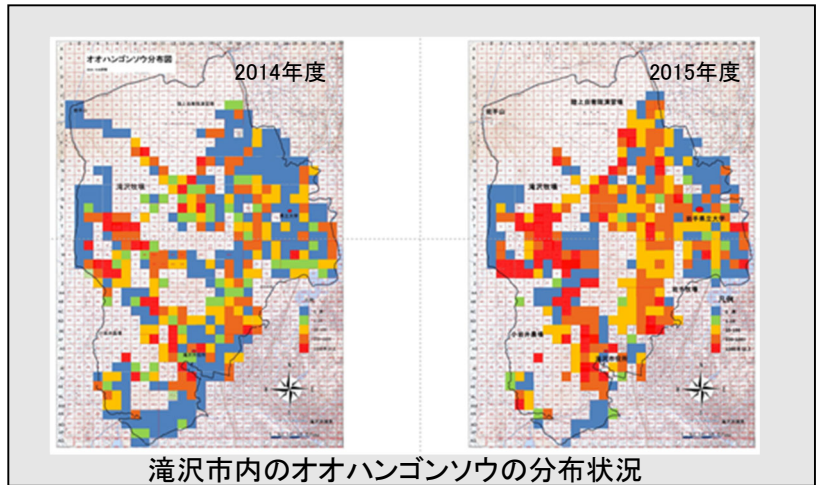
▼研究の概要(背景・目標)

滝沢市では、2014年度特定外来生物オオハンゴンソウの分布調査を市民参加により実施し、市内の多くの場所に侵入していることを明らかにした。参加した市民から早急に駆除を行うべきとの意見が出されたことから、分布調査を拡充するとともに駆除対策を実施した。



▼研究の内容(方法・経過)

1. 調査対象 特定外来生物オオハンゴンソウ
2. 調査内容 SNS、地図でオオハンゴンソウの分布を市民参加で調査する。小学生によるいきもの調査試行。駆除方法の検討及び実施。
3. 調査期間 8月～9月



▼研究の成果(結論・考察)

1. 分布調査 市内の多くの場所で分布が確認されオオハンゴンソウの出現箇所は増加傾向にある。
2. 小学生による調査 5校14人が参加。分布だけではなく土地利用などの調査を行った事例があり、今後の発展が期待された。
3. 駆除活動 駆除パンフレットを作成し、全戸回覧による市民啓発を行った。滝沢総合運動公園で駆除実験を行い、春子谷地湿原の周辺で本格的な駆除を実施した。



▼おわりに(まとめ・今後の展開)

1. 市民参加によるSNSや地図による外来種の分布調査は、県内でも先駆的な試みであり、今後他の市町村でも導入することが期待される。駆除のパンフレットについては、県の農業サイドで増刷され県内の農家に配布された。
2. 小学生によるいきもの調査は、小学生が身近ないきものに触れるきっかけとなるものであり、たきざわ環境パートナー会議が次年度以降も継続して行うこととなった。
3. 一度侵入してしまった外来種の駆除は労力やコストが高くつく。未然防止のための市民の啓発が肝要である。